

白川静記念東洋文字文化研究所 創立20周年記念講座

立命館土曜講座

会場：末川記念会館（対面）+ ZOOMウェビナー（公開）／聴講無料
お申込み（①②共通）：<https://www.ritsumei.ac.jp/doyo/>



① 講演：白川研の貴重資料 —「飯尾宗祇画像」の紹介 —

日時：12月13日（土） 10:00～11:30 講師：川崎佐知子（立命館大学文学部教授）

内容：立命館大学白川静記念東洋文字文化研究所が近年収集した「飯尾宗祇肖像画」を紹介します。

室町後期の連歌師・古典学者である宗祇（1421-1502）の肖像画は、生前の壽像を中心に多くのバリエーションが存在します。本講演では、新出資料が従来の肖像とどのように関わるのか、その伝来（近衛前久 → 紹巴 → 里村南家 → 富岡鉄斎）や用途にも触れながら解説します。

② 座談会：白川靜博士の思い出

日時：12月20日（土） 10:00～11:30

講師：津崎 史、中森 健二、芳村 弘道（立命館大学衣笠総合研究機構教授）萩原 正樹（立命館大学文学部教授）

内容：白川静記念東洋文字文化研究所の設立20周年を記念し、白川博士の御長女・津崎史様と3名の受業生が、博士の学問・人柄について語ります。博士93歳時の講演録画や寄贈資料の画像も紹介。偉大な東洋学者・白川博士への理解を深める機会となります。

特別講演会

世界遺産「殷墟」—漢字と中国思想の歴史—

公開形式：末川記念館（対面）+ ZOOMウェビナー
(聴講無料、見逃し配信あり)

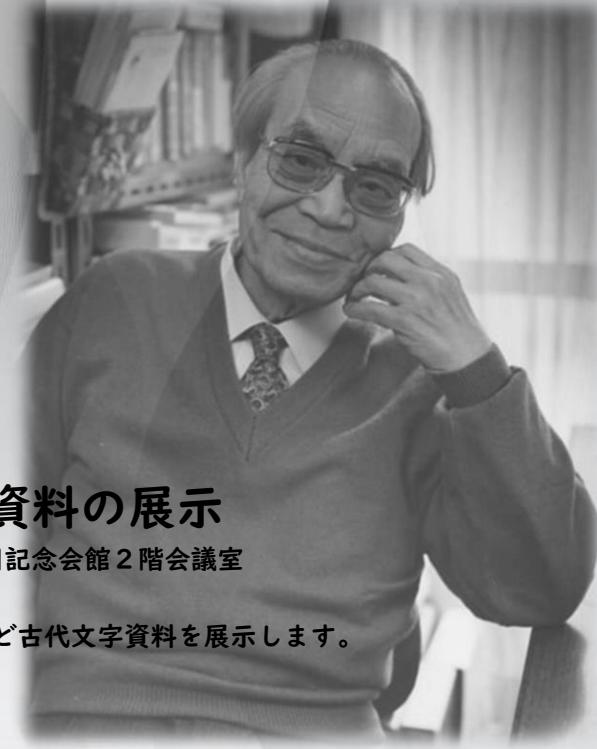
お申込み：<https://ws.formzu.net/fgen/S797236718/>



日時：12月20日（土） 13:30～14:30

講師：湯浅 邦弘（立命館大学衣笠総合研究機構教授）

内容：立命館創始155周年・大学創立125周年記念資料展ならびに白川研「土曜講座」に合わせて、第2回白川研特別講演会を開催します。今回は、世界遺産「殷墟」を取り上げ、甲骨文字の発見や漢字の歴史、中国思想の誕生と展開について、現地の写真をまじえながら分かりやすくお話しします。



■ 白川先生ゆかりの品々、古代文字資料の展示

日時：12月20日（土） 11:30～12:30 14:30～15:30 ／会場：末川記念会館2階会議室

白川先生に関する資料・ゆかりの品々や、甲骨、青銅器レプリカなど古代文字資料を展示します。